

2023 年度 全日本学生室内テニス選手権大会

大会注意事項

1, オーダー・オブ・プレイ

- 試合の進行はオフィシャルボードに掲示するオーダー・オブ・プレイに基づく。
- オーダー・オブ・プレイは試合前日に発表する。
- オーダー・オブ・プレイは試合進行、天候などにより変更することがあるので注意すること。

2, 中止について

天候その他により試合を中止にする判断はレフェリーが行う。選手は指示に従い、中止の決定があるまで会場で待機すること。

3, 試合形式

シングルス

予選ならびに本戦 QF までベストオブ3タイブレークセット、ファイナル 10 ポイントマッチタイブレーク

SF 以降 ベストオブ3タイブレークセット

ダブルス

予選+本戦 QF までベストオブ3タイブレークセットファイナル 10 ポイントマッチタイブレーク (ノーアド)

SF 以降 ベストオブ3タイブレークセットファイナル 10 ポイントマッチタイブレーク (デュースあり)

4, ルール/質疑

- 試合上の質疑は、2023 年度版 J T A テニスルールブックに基づく。
- 試合上の法的トラブルが発生した場合は、選手はレフェリーを呼ぶことができる。

5, コートサーフェス

ハードコート(屋内)

6, 大会使用球

DUNLOP FORT

7, ボールチェンジ

全種目 9-11

- 本戦 QF まで 2 球、本戦 SF 以降 4 球

8, WCについて

各種目予選に各地域より1本、最大8本のWCを与える。

推薦条件は以下の通り

- ・各地域学連の総合的な判断により推薦された選手
- ・本年度全日本学生テニス選手権大会においてそれぞれの種目にて以下の戦績を持つ選手
 - ・シングルス 本戦出場
 - ・ダブルス 本戦出場

エントリー締め切り後、事前に推薦のあった選手のエントリーがされており、本戦及び予選にDAとならなかった場合にWCを与え、エントリーリストにて公開する。該当する選手のいない地域のWCは放棄され、Altが繰り上がる。

又、本大会は韓国の招待選手に本戦各種目本戦単2本、複1本を与える。

9, シード決定について

本年度関東学生テニス選手権終了時点における、全日本学生ランキングを基にアクセプタンスリストを作成する。シード順位はアクセプタンスリスト作成時に使用したランキング、並びにポイントに基づき、決定する。シングルス：ランキングがタイの場合には抽選にて順位を決定する。

ダブルス：両選手のポイントの合計を基にアクセプタンスリストの作成、並びにシード決定を行う。ポイントの合計が等しい場合には、ポイント上位者がいるペアを優先とし、上位者が同ポイントの場合には、抽選にて順位を決定する。

9, ウォームアップ

基本的に5分以内。ウォームアップ終了後すぐに試合を開始すること。

朝のプラクティスがない場合、大会本部からの指示により、試合前のアップが10分間に延長される可能性あり。

10, メディカルタイムアウト

メディカルタイムアウトは3分。1部位の症状につき1回のメディカルタイムアウトが取れる。MTは試合を通じ、2回までとする。

11, トイレットブレイク

男女シングルス共に1回。ダブルスにおいては男女ともペアで2回とする。

いずれも、コートレフェリーまたは運営委員の付き添いがなければならない。

12, ウェア／ロゴ

J T Aルールに基づくものとするが、常識的な範囲のウェアを着用すること。

13, ラケット

ストリングの切れたラケットで新しいポイントをプレーしてはいけない。

14, コード・オブ・コンダクト

- 本大会はポイントペナルティー制度を採用する。
- 選手が試合開始に遅れた場合はJ T Aルールに基づき裁定し、マッチコールから 15 分経過後もコートに入らなかった場合は失格とする。
- 第二試合からのマッチコールは前の試合の試合終了時点とする。

15, 主審／ラインアンパイア(予定)

各試合、次のような審判制度にする。

本戦 QF まで セルフジャッジ(ロービングアンパイア)

本戦 SF～F ソロチェアアンパイア

16, 大会中の事故／盗難など

- 大会中の事故や盗難について主催者側は一切責任を負わない。

17, 練習ボールについて

- 練習ボールは大会本部で貸し出しするが、使用後は必ず返却すること。
- 朝のプラクティスにはボールは貸し出さないので各自用意すること。

18, 大会日程について

- コート面数に限りがあるので、前の試合が終了次第、次の選手はコートに入ること。
- 試合の前、合間、コートチェンジで時間超過の場合は厳しく処分するので注意すること。

19, ラッキールーザーのサインイン

初回戦が行われるそれぞれの日、オーダー・オブ・プレイで発表された最初の試合の開始時間 30 分前までに、会場入り口に用意(予定)されたラッキールーザーサイン用紙に選手自身がサインし、L L補充の連絡 後、30 分以内にコートで試合の準備を整えなくてはならない。ラッキールーザーのサインインの締め切り時刻は、天候で試合開始時刻が変更されても変わらない。初回戦が2日以上にわたった場合、最初の日にサインインしていなくても、2日目以降のラッキールーザーへのサインインの資格が与えられる。

20, 試合間の休息

同一の日に2つ以上の試合をする予定のプレイヤーには、それぞれ次の休息が与えられる。

- 60分未満の試合後 30分の休憩
- 60分以上、90分未満の試合 60分の休憩
- 90分以上の試合 90分の休憩

【トレーナー室の利用について】

*本大会には(財)日本テニス協会医事委員会が派遣するドクター、オフィシャルトレーナーが常駐しています。

・オフィシャルトレーナー業務内容

1. インジューリーコールへの対応
2. 応急処置

・活動時間 試合中(試合進行、大会日程により異なります)

・場 所 大会本部(予定)